テラルビシン注射用10mg、20mg（注射用ピラルビシン塩酸塩）による化学療法を受ける患者さんへ

監修：
多摩北部医療センター 名誉院長　森　眞由美
岡山大学病院 薬剤部長　千堂　年昭

meiji

もくじ

はじめに …… 2

がんと抗がん剤の関係 …… 3

テラルビシン注射用（注射用ピラルビシン塩酸塩）のプロフィール …… 4

注射や点滴の際の注意点 …… 6

副作用について …… 8

おもな副作用とその対策 …… 9

安全で有効な治療をおこなうために …… 13

治療にあたって …… 14

メモ …… 16

はじめに

これからテラルビシン注射用（注射用ピラルビシン塩酸塩）による化学療法を受ける患者さんへ

これから取り組むがんの化学療法では、テラルビシン注射用（注射用ピラルビシン塩酸塩）というお薬を使用します。このお薬は、乳がん・卵巣がん・子宮がんなどの婦人科系のがんのほかに、胃がんや血液のがん（急性白血病や悪性リンパ腫）、膀胱がん、頭頸部がんなどさまざまながんの治療に使用されています。

この冊子は、テラルビシン注射用を使用した治療について、とくに患者さんに知っておいて欲しいことをまとめました。治療やお薬についてすでに説明を受けていると思いますが、確認や振り返りの場面に役立ててください。

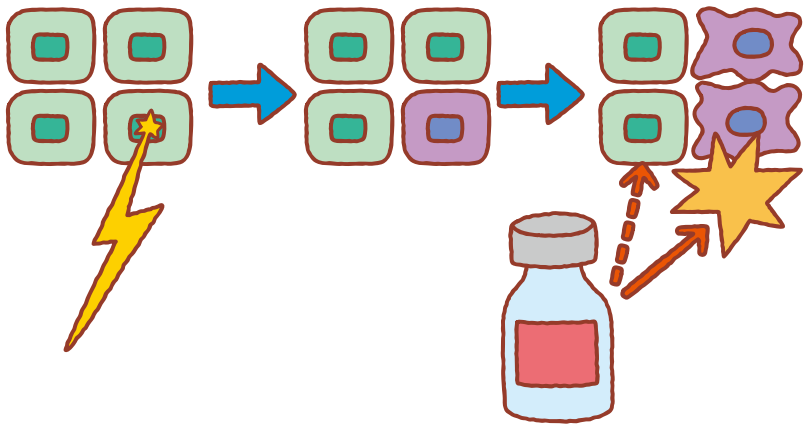
また、治療に際しわからないことや不安なことがあった場合には、遠慮せずに何でも医師や看護師、薬剤師に相談をしてください。

がんと抗がん剤の関係

私たちのからだは、約60兆個もの細胞によってなりたっています。この細胞に何らかのきっかけで変化が起こり細胞ががん化することにより、がんは発生します。このがん化した細胞が、どんどん増え正常な細胞に取って変わってしまう病気を、がん（悪性腫瘍）といいます。

抗がん剤は、がん細胞が活発に分裂するのを防害し、がん細胞を減らしてゆきます。

抗がん剤による治療を化学療法とも呼びます。抗がん剤の作用は、がん細胞のみならず、正常な細胞への影響も大きくなることがあります。



テラルビシン注射用(注射用ピラルビシン塩酸塩)のプロフィール

形状	小さなビンに入った注射用のお薬です。 使用する際に、注射用に溶かして使用します。 お薬の色は、ルビー色（赤い色）をしています。そのため、尿に色がついてしまうことがありますが、心配はいりません。
使用法	総投与量は決められていますが、患者さんごとに使用量を調整し、点滴や注射で投与します。(膀胱がんの場合には、直接膀胱に注入する場合もあります。) 投与方法は、がんの種類や患者さんの状態によってさまざまな方法がとられます。
効能・効果	頭頸部がん、乳がん、胃がん、尿路上皮がん(膀胱がん、腎盂・尿管腫瘍)、卵巣がん、子宮がん、急性白血病、悪性リンパ腫に効果があります。

禁忌 (次の患者さんには使用できません)	・心臓のはたらきに異常がある患者さんや、心臓の病気を患ったことのある患者さん ・以前にこのお薬を使って過敏症を起こしたことのある患者さん ・他のアントラサイクリン系薬剤など、心毒性を有するお薬を前治療とし、限界量に達している患者さん
慎重投与 (次の患者さんには慎重に投与しなければなりません)	・肝臓や腎臓に障害がある患者さん ・骨髄機能抑制のある患者さん ・感染症にかかっている患者さん ・高齢の患者さん ・水痘にかかっている患者さん ・小児の患者さん ・妊娠している可能性のある患者さんや妊娠している患者さん ・授乳中の患者さん

十分な検査をおこない、患者さんに最も効果のある治療法を決定します。しかし、患者さんご自身も、上記の注意事項に心当たりがあった場合には、安全で効果のある治療をおこなうためにも医師や看護師、薬剤師など医療スタッフに伝えましょう。

注射や点滴の際の注意点

点滴中にまれにショックなどのアレルギー症状（過敏反応）が起こることがあります。万が一、下記の症状があった場合には、すぐに医師や看護師に連絡してください。

汗が出る

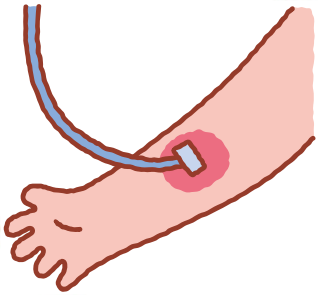
動悸・息切れ

胸が痛い・苦しい

発疹が出る

顔がほてる

お薬を投与する際には、十分注意しておこないます。しかし、点滴中や点滴後に注射部位に下記のような症状があった場合は、すぐに医師や看護師にお知らせください。



- 痛みや焼け付くような感じがする
- 違和感がある
- 赤くなっている
- 腫れたり膨らんでいる

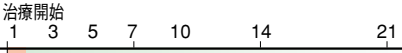
副作用について

抗がん剤の作用は，がん細胞のみならず、正常な細胞への影響も大きいことから、副作用としてさまざまな症状があらわれてしまいます。治療を始めてからすぐに症状の出るものや、時間がたってから症状の出るものがあります。

現在は、副作用の出かたや対策などもわかってきましたので、事前に予防薬を投与するなどの対策がとられています。

こんな症状があるかもしれません

副作用　　あらわれやすい時期と対策



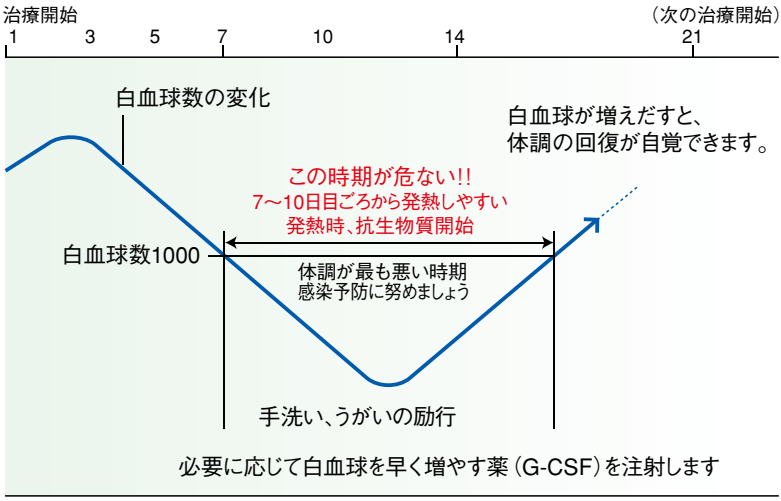
前期にあらわれやすい	点滴のもれ	気をつけて見てください	
	心臓への影響	気をつけて見てください	＊心臓がどきどきしたり、痛くなるような症状があれば伝えてください。
	吐き気	吐き気止め、食事	
	膀胱炎	気をつけて見てください	＊水分を十分にとってトイレをがまんせず尿をどんどん出してください。
	尿酸値の上昇	尿酸降下薬	
後期にあらわれやすい	白血球数の低下	感染予防、G-CSF	
	脱毛	経過観察	＊治療後2〜3ヵ月でやわらかい毛がはえてきます。
	神経への影響	経過観察	＊味覚障害（塩っぱいのがわからない、甘さがわからないなど） 末梢神経障害（手足の指がしびれる、痛みがはしる）
その他の副作用	口内炎	口腔用軟膏、うがい薬	＊感染症状のひとつ。清潔に保ちましょう。
	不眠	眠剤	＊プレドニンにより寝汗をかいたり、イライラ、ほてりを感じることもあります。
	便秘	下痢・整腸剤	＊最も起こりやすい。出ない日が続いたらすぐに申し出てください。
	消化器症状	胃薬	＊胃粘膜を保護する目的で胃薬を服用します。

副作用のあらわれ方は人によってさまざまで、あまり副作用を経験しない人もいます。
治療がうまくいっていても副作用が出ないこともありますし、治療の副作用と治療効果はとくに関係はありません。

おもな副作用とその対策

白血球の減少

血液中の白血球（とくに好中球）の減少が多くの患者さんに認められます。白血球が減少すると、免疫力が弱まり感染症にかかる可能性が高くなります。そのため血液の状態を確認し、必要に応じて予防のためのお薬を投与したりします。感染症の症状（発熱など）が認められた場合には、すぐに抗生物質などを投与します。



治療開始7〜10日後くらいから白血球が減少します。そのため2週間は、手洗いうがいをおこない、患者さんご自身も感染症の予防に努める必要があります。

心筋障害
―心電図の異常・頻脈・不整脈・胸の痛み―

治療前には、心電図や心エコーなど十分な検査をおこないます。もしも検査で異常があった場合には、このお薬を使う治療はおこないません。また、治療中も異常が起こっていないか十分に監視し、万が一異常が認められた場合には治療を休んだり、中止したりします。

- 心臓に異常のある患者さんやこれまでに心臓の病気を患ったことのある患者さんは、事前に申し出るようにしましょう。
- 治療中に脈が速くなったり、動悸がしたり、胸が痛くなった場合には、すぐに申し出てください。

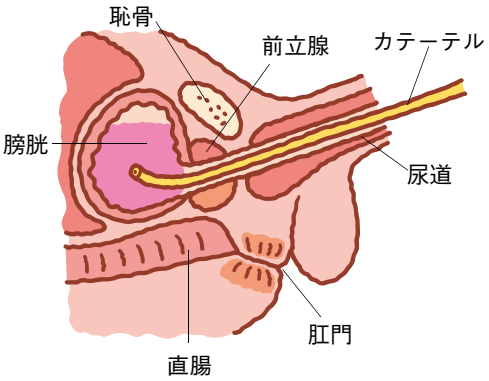
間質性肺炎

―発熱・空咳き・息切れ―

まれに発熱、空咳き、息切れがみられるなどの症状が出ることがあります。治療中は十分に観察をおこない、胸部X線像に異常がみられる場合には、お薬の投与を中止し適切な処置をおこないます。

萎縮膀胱

―膀胱内注入療法の場合―



抗がん剤の刺激などにより膀胱がかたく小さくなることがあります。下腹部痛や頻尿などの症状があらわれた場合には、医師や看護師に知らせてください。抗がん剤による治療を中止し、適切な処置をおこないます。

悪心・嘔吐、食欲不振

最近は、事前に吐き気止めのお薬を処方します。吐き気のためお薬も飲めない場合は、医師や看護師に相談してください。無理をせずに、食べたいものを少量ずつとるようにしましょう。

脱毛

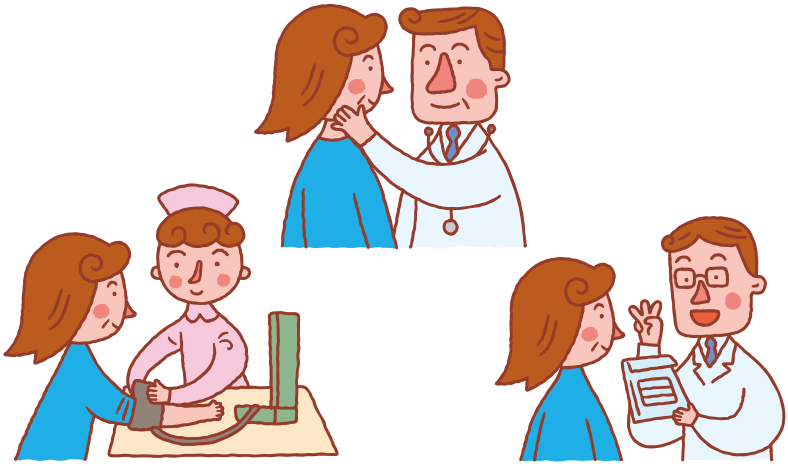
個人差がありますが、治療を重ねるごとに徐々にあらわれます。脱毛の治療法はありませんが、治療前に髪を短くカットしたり、帽子やかつらを利用してみるのもよいでしょう。脱毛は一時的なものなので、治療が終了すると徐々にもとに戻ります。

下痢・便秘

予防薬を事前に投与したり、症状があらわれた場合には適切な処置をおこないます。便秘の場合には繊維の多い食物をとるように心がけましょう。下痢の場合は、水分補給を忘れずにおこなうようにしましょう。

安全で有効な治療をおこなうために

安全で有効ながん化学療法をおこなうために、患者さんと医師・薬剤師・看護師などの医療スタッフが一丸となって治療に取り組みます。とくに近年では、通院で治療をおこなうことも多くなりましたので、患者さんご自身が自分の体調をよく観察し**「おかしいな」「いつもと違うな」と感じた場合には医師や薬剤師、看護師に連絡するようにしましょう。**



また、頭痛や歯痛などを抑える**市販のお薬は、抗がん剤の治療に影響を与える場合がありますので、**使用する前に医師に相談するようにしましょう。

治療にあたって

不安なことやわからないことがあったら、医師や薬剤師、看護師に相談しましょう。

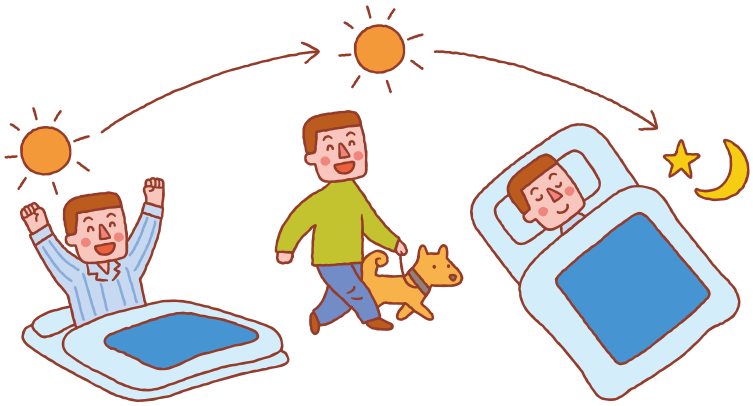
病気や治療で不安なことがある場合には、遠慮せずに医療スタッフに相談してください。医療相談員の相談窓口が設けられていることもあります。

聞きたいことや説明を受けたことは、メモをとりましょう。

気になったことをメモしておいたり、先生に聞いた説明をメモしておいたりすると、後で見直すことができます。また、家族や友人に同席してもらうのもよいでしょう。

してはいけないことや
食べてはいけないものはありません。

治療中だからといって、してはいけないことや食べてはいけないものはありません。体調がよいときに、担当医師とご相談のうえ、お友達やご家族と旅行や食事に出掛けるのもよいでしょう。ただし、「つらい」「しんどい」時には無理をせず休養をとるようにしましょう。



【健康食品や民間療法について】

近年「がんに効いた」などの宣伝文句がついた食品や書籍を目にするようになりました。患者さんのなかには、試してみたいという方もいらっしゃると思いますが、治療に影響を与えてしまう可能性もありますので**医師に相談してから使用してください。**また、使用中に体調がわるくなった場合には、必ず医師に相談しましょう。

メモ

とくに通院で治療を受けている患者さんは、病院の連絡先はもちろんのこと緊急時や夜間の連絡先を控えておくとよいでしょう。

緊急・夜間連絡先（ご家族など身の回りの世話をお願いする人）

病・医院名

Meiji Seika ファルマ株式会社

GN100604Ⓢ
（SIS）
改訂：2020.8